# 柴田町まちづくりワークショップ開催報告

## １．開催概要

### （１）名称

「第７次柴田町総合計画策定に係るまちづくりワークショップ」

### （２）実施の目的・趣旨

第７次柴田町総合計画策定にあたり、住民の意見を反映するため、ワークショップを実施するもの。各個人が考える「柴田町の良いところ」「柴田町の改善すべきところ」から、グループごとに「１０年後も住み続けたいと感じる柴田町のあるべき姿」のキャッチフレーズを作成するもの。各グループが考えた「１０年後も住み続けたいと感じる柴田町のあるべき姿」は、「第７次柴田町総合計画策定職員ワーキンググループ」が第７次柴田町総合計画基本構想のまちの将来像を作成するにあたり反映するもの。

### （３）実施日時・会場

地区ごとに４回に分けて実施した。１回あたりの実施時間は９０分。

①令和８年１０月２日（金）　午後２時から午後３時３５分まで
　船岡生涯学習センター　１階　ホール

②令和８年１０月２日（金）　午後６時３０分から午後７時５５分まで
　船迫生涯学習センター　２階　会議室１・２

③令和８年１０月３日（土）　午前１０時から午前１１時３０分まで
　柴田町役場　保健センター　４階　多目的ホール

④令和８年１０月１０日（土）　午前１０時から午前１１時３５分まで
　槻木生涯学習センター　３階　会議室２

### （４）参加者募集の方法・時期

参加者募集の方法

①広報紙による公募、②町ホームページによる公募、③町 LINE による公募、
④町から直接的な声がけ　など

周知期間

令和８年９月１日から

### （５）各回の参加者（町民）の人数

①１１人（うち柴田高校の生徒８人）
②９人（うち仙台大学の学生３人）
③１４人（うち船岡中学校の生徒５人、柴田高校の生徒２人、仙台大学の学生３人）
④１５人（うち柴田高校の生徒１人）

### （６）企画・運営

全体ファシリテーター

七十七リサーチ＆コンサルティング㈱（７７Ｒ＆Ｃ）調査研究部長

グループ毎のファシリテーター

七十七リサーチ＆コンサルティング㈱（７７Ｒ＆Ｃ）調査研究員３～４名
まちづくり政策課企画班２名（デア、佐藤（康））

グループ毎のオブザーバー

柴田町職員（課長級）

司会進行

柴田町まちづくり政策課

企画・運営

柴田町まちづくり政策課、７７Ｒ＆Ｃ調査研究部

（7）実施概要

・　目的

柴田町の総合計画に対する理解を深めていただくとともに、グループワークを通して柴田町の未来について自由に議論していただき、柴田町の将来像のイメージや方向性を共有する機会とする。

・　テーマ

町民が考える１０年後に住み続けたいと感じる柴田町のあるべき姿

・　住民懇談会の流れ

下記のとおり、各回において、施政方針や総合計画の概要について説明した後、５、６名程度のグループごとに柴田町の将来像について議論した。

【まちづくりワークショップの流れ】

| | 時　間 | 内　容 | 方　法 |
|---|---|---|---|
| 1 | 10 分 | 町長あいさつ | 開催趣旨や所信表明等の説明 |
| 2 | 5 分 | 第７次柴田町総合計画について | まちづくり政策課から総合計画の概要や骨子案について説明 |
| 3 | 50 分 | ワークショップ<br>①ワークショップの進め方について説明（5 分）<br>②グループごとに自己紹介(5 分)<br>③個人ワーク(10 分)<br><br><br>④グループワーク(30 分) | <br>①７７Ｒ＆Ｃ全体ファシリテーターから説明<br>②1 人 1 分程度で自己紹介をする。<br>③青の付箋に「柴田町の良いところ」赤の付箋に「柴田町の改善すべきところ」を記入<br>④「柴田町の良いところ」「柴田町の改善すべきところ」についての各個人の意見を模造紙に貼りながら、カテゴリーに分けて、「１０年後に住み続けたいと感じる柴田町のあるべき姿」のキーワードを各グループごとに作成 |
| 4 | 25 分 | 発表・意見共有 | 付箋を貼付した模造紙に基づき、各グループの代表者が「１０年後に住み続けたいと感じる柴田町のあるべき姿」について発表 |

２．実施内容

各回の実施内容は以下のとおり。

（１）令和８年１０月２日（金）船岡生涯学習センター

１０年後に住み続けたいと感じる柴田町のあるべき姿をテーマに「柴田町の良いところ」「柴田町の改善すべきところ」についての各個人の意見を模造紙に貼りながら、グループごとにディスカッションを実施、最後に「あるべき姿」についてグループ発表を行った。

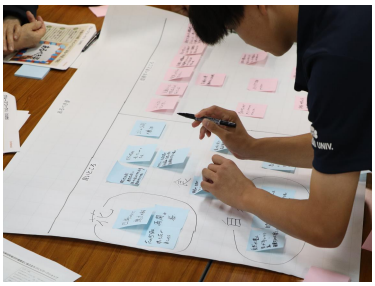
【開催の様子】




（２）令和８年１０月２日（金）船迫生涯学習センター

実施内容は、（１）と同じ。

【開催の様子】

（３）令和８年１０月３日（土）柴田町役場　保健センター

実施内容は、（１）と同じ。

【開催の様子】




（４）令和８年１０月１０日（土）槻木生涯学習センター

実施内容は、（１）と同じ。

【開催の様子】




３．グループワークで出された意見等

各回のグループワークでは、以下のような意見が出された。

（１）令和８年１０月２日（金）船岡生涯学習センター

A グループ

【あるべき姿】

桜が自慢＋災害に強い＋ご飯がおいしい＋町がキレイ＋人々が優しい＝笑顔になれる町柴田

【良いところ】

・ごはんがおいしい
・桜がきれい
・自然が豊か
・建物が少ないから空気がキレイ
・町がきれい
・ポイ捨てが少ない
・治安が良い
・人が優しい
・地域との関わりがある
・自宅の周りには大型スーパー、郵便局、歯医者、内科医院、銀行（信金）などがあり住みやすい。便利です。船岡駅へも徒歩 15 分です
・津波の心配もなく地震にも強い土地なのかと思う

【改善すべきところ】

・電車の本数が少ない
・交通インフラが悪い
・JR の営業本数を増やしてほしい、夜のタクシーの確保、24 時間営業のお店が無くなってきた
・街灯が少なく、夜になると暗くて危ない
・より便利なタクシー利用の実現、人口減少を止める方策
・遊ぶ場所が仙台や名取まで行かないとない
・友達と放課後遊べる商業施設が欲しい
・イオンモールが欲しい
・学校の数が少ない
・コンビニが少ない
・地域行事が少ない
・町内会の役員が減少→行事イベントの中止→町が実施

B グループ

【あるべき姿】

自然と暮らしが調和するいきいき元気な町

【良いところ】

・地域の人が接しやすい優しい
・イベントが多い
・カーブミラーが多いこと
・ポイ捨てが少ない
・仙台に行くのに 30 分
・保育所、学校が近い
・生活するのによい商店が近くにある
・職場が近い
・運動できる施設がある
・暮らしにちょうどよい自然がある（カモシカに会える）
・桜並木があること

【改善すべきところ】

・歩道の草の整備
・老後の暮らしが心配
・移動が少し不便
・遊ぶ所が欲しい（施設）

C グループ

【あるべき姿】

今ある自然を軸に、若者が楽しめて人とのつながりがある安全なまち 柴田

【良いところ】

・桜のイベントがある（毎年大河原と船岡駅が賑わう）
・花火など夏祭りが開催されて楽しめる
・あいさつが元気なところ
・人と人との距離が近い。親しみやすい
・小・中学生が安全に登校できるように朝から見守ってくれている
・自然が身近である（仙台民の意見）
・自然がたくさんあり空気がおいしいところ
・私は西船迫住、緑、自然がとても良く環境が良い、地震にも強かった
・スーパーなどがまとまってあって買い物がしやすい

【改善すべきところ】

・「柴田町」ならではのものがあまり無い

・アミューズメントパークや遊園地など分かりやすく若者が楽しいと感じる娯楽が少ない
・小さな子供が遊べる場所が少ない
・現在は道路がデコボコで転倒、医療について病院が少ない
・西船迫は現在高齢化が進んで一人暮らしが多くなっています
・公園や通学路に草が伸びきっていて通りにくい
・道路の曲がり角にミラーがなく危険な所がある
・街灯が少ない
・電車が止まりやすい
・ドッグランやパークゴルフを作ってほしい

（2）令和８年１０月２日（金）船迫生涯学習センター

A グループ

【あるべき姿】

訪れて良し 食べて良し 知って良し ふれあって良し これぞ住むべし我が柴田

【良いところ】

・四季のすべて魅力がある
・花の町柴田、様々な花が楽しめる
・満開の桜
・町の人が温かい（挨拶をしてくださったり声をかけてくださる）
・野菜やお米がおいしい
・大学の存在、若い方の存在
・町内に仙台大学があるので若者の姿を見る機会も多く嬉しい
・ゴミの分別が厳しめ
・家のすぐ前に森合横穴古墳がある（1300 年位前のもの）、縄文時代の貝塚もあり歴史の町
・自然が豊か、虫が多いので鳥観察するのが楽しい
・6 つの里山、ハイキングコースの存在。自然の中を歩く楽しみ
・各種（大型・小型）の店が多くあり買い物に困らない

【改善すべきところ】

・ゴミのポイ捨てが多い
・交通ルールを守らない人がちょっといる
・電車がもう少し多くてもいい
・交通の便（車がないと不便）
・気軽に集まれる場所（コワーキングスペース）などが少ない
・学生の皆さんとふれあう機会があれば高齢者も元気になるのでは
・歴史を知る機会を作って、多くの人に感心を持ってもらえば、ふるさとを大切に思えるのでは
・自然が豊かなのに気付いていない人も多い、もっと楽しむことができないか
・ボランティア活動が少ない

・柴田町の中心が何処なのか分からない
・槻木地方の方々から船岡地方が優遇されているとの声にどう答える
・現在住んでいる県営住宅に空き家が目立つ、また住民の高齢化が著しい

B グループ

【あるべき姿】

伝えよう!! しばたのすべて

【良いところ】

・最近は子育てで頑張っている
・柴田町は住みやすい所です
・地域の方々の行事参加が多い
・地域との助け合い、人柄の良さ
・自然環境が良い、高齢者同士は意見が合う
・地区の方々は親切ですよ
・地域コミュニティが盛ん（大学のイベントなどで地域が関わることが多い）
・大学生や高校生以下など若者を活かした地域活動もある
・館山公園の季節毎の花の参加（見に来る）方々が TV、新聞など
・旧 4 号線の橋の上からの景色が良いと SNS 又メディアなどで紹介されている
・観光資源が豊富（桜など）
・地域資源が豊か（自然や広い土地）
・自然が多く散歩する方々が多い
・日常の運動、スタンプラリー
・地域の運動教室、交流スポーツ大会が盛ん（住民同士だけでの）
・町（都会）と田舎が一つになっている
・災害時の対応が素晴らしい

【改善すべきところ】

・柴田町の方々行事参加、特に若い方々へ
・町の良さアピールをもっと TV などで積極的に！
・障がい者との共存生活改善、大学生の放出改善
・高齢者が高齢者へ支援しなければ？
・若い人達が多くなってほしい
・UIJ ターンの促進
・住民との相談を最後まで聞いてほしい
・移動スーパーの充実
・給付金等の補助
・観光、地域資源の発掘
・DX 化と AI 化（行政も地域も）
・地域と教育機関の協働、交流の不足

（3）令和８年１０月３日（土）保健センター

A グループ

【あるべき姿】

自然が豊かでつねににぎわいがある 子どもから年寄りまで暮らしやすい町

【良いところ】

・桜が有名
・桜が綺麗
・四季を感じることができる
・スーパーが多い
・館山公園の整備が進み賑わいを目指している所
・公園がたくさんある
・桜祭りなどの行事がたくさんある
・お祭りが多い
・給食がおいしい
・給食の量が多い
・自然豊か
・ポイ捨てが少ない
・役場職員の対応が良い
・駐輪場が管理されている
・高校・大学あり、活動が地域と協働できる所
・若い意見を受け入れる住民がいる

【改善すべきところ】

・買物をする場所が遠くなった
・健康診断が保健センターから総合体育館になり遠くなった
・市内の交通の便が少ない所
・広報しばたが１カ月おきになり読むのが大変になった
・遊べる所が少ない
・イオンが欲しい
・カラオケが欲しい
・スタバが欲しい
・公園の整備が進んでいるが貴重な虫や鳥が居なくなった
・夜の道が暗い
・空き家が目立つ地区がある
・地区によって栄えている、レベルに差がある
・街灯が少ない
・道路がデコボコしている

B グループ

【あるべき姿】

広げよう!! 住んで来てほっとする柴田

【良いところ】

・仙台に電車一本で行ける
・まあまあ交通の便がよい
・仙台が近い、買物、イベント多い、良く行く
・城址公園の季節毎のイベント
・定期的なイベント（ハンバーガー祭みたいなもの）
・多くのイベントがある
・活気
・桜がある
・桜の名所
・山、川があり住みやすい、自然が多い
・自然豊か
・いろんな学校がある
・町は小さいが大学がある
・スポーツが盛ん
・外国人も住みやすそう
・高齢者がイキイキしている（ゲートボールとか趣味に熱中）
・挨拶が良い
・おじいちゃんおばあちゃんが優しい

【改善すべきところ】

・街灯が少ない地域がある
・街灯を増やしてほしい
・巡回バスがない
・駅まで遠い
・歩きだと厳しい（車がないと辛い）
・遊ぶところが少ない
・飲食店が少ない
・カラオケがない
・スーパーを増やしてほしい
・教室を広げる場所がほしい
・タバコのポイ捨て、喫煙所を増やす
・（町として）全国へのアピールが足りない
・空き家がある
・道路がガタガタで歩行者も運転する人も辛い
・なかなかまちづくりに関わる人が少ない

・意外に雪が少なく、災害も少ない（地震もあったけど）
・少し運転マナーが悪い

C グループ

【あるべき姿】

人と自然を大事にし誰もが住みたくなる柴田

【良いところ】

・4 月の桜がきれい、外国人が来てくれる
・夏祭りや桜のイベントがあるところ
・春夏秋冬、城址公園でイベントをしていて楽しめる
・山と川がすぐ近くにあり自然豊か
・自然が多い
・自然が豊かなところ
・少子高齢化について進めている感じがしている
・色々なところと連携しているところ
・公園が多い
・小中学校の行事に地域の方々が積極的に参加してくれること
・挨拶が元気なところ
・ボランティア活動に参加する人が多い
・見守り隊などの安全を守ってくださる
・声をかけてくれる
・人が優しい
・ポイ捨てが少ないところ

【改善すべきところ】

・桜を今後どう繋いていくか
・河川敷をもっと有効活用してはどうか（大河原は進んでいる感じがする）
・子育てが終わった世代にも良いと感じる町であるといいなと思う
・自衛隊の夏祭りを開催してほしい
・勉強できる場所が少ない
・アミューズメント施設（ゲームセンターやスポーツなど）
・イルミネーションやハロウィーンなどの飾りが少ない
・子どもがボールを使って遊べる場所を作ってほしい
・涼める場所、遊べる場所がない
・部活時間が短い
・ゴミが多い
・ゴミが多い（ポイ捨て）
・バイクのふかす音が多い
・街灯が少なく、夜になると暗くて怖い

・道路がデコボコしている
・総合体育館ができたので近くに駅があったらいいなと思う
・高齢者が多い町に対して利便性はない
・電車がすぐに止まってしまうところ
・電車の本数が少ない
・スロープカーが動くようにしてほしい
・選挙の投票ボックスが少ない（仙台大学におけば）
・選挙のとき授業時間の放送（アナウンス）を控えてほしい

（４）令和８年１０月１０日（土）槻木生涯学習センター

A グループ

【あるべき姿】

自然豊かで生活に困らない誰もが住み続けたいまち柴田！！

【良いところ】

・桜がキレイ
・立派な公園があり桜で有名、千桜橋有名
・自然が豊か
・空が大きく見える
・空気がきれい
・土手の桜並木も成長し散策に良い
・気候が良い、雪があまり降らない
・季節
・生活がしやすい土地
・生活に困らない
・地区の集会所が地区ごとにあり会合とかにも
・総合体育館ができ災害時の避難施設の拠点ができていいことだと思います、今までは大型施設は無かった、この広場を利用して催し物ができ大人数収容ができてよろしいと思います
・災害に強い
・親切な人が多い
・人間味がある、あたたかい
・街がキレイ（ポイ捨てが少ない）

【改善すべきところ】

・電車の本数が少ない
・車がないと不便
・バスがない
・街灯が少ない
・道端に雑草が生い茂っている

・公園整備
・建物（お店）が少ない
・遊べるところが少ない
・災害が起きた時の避難所が少ない
・空き家対策
・銀行が不便
・線路沿い以外にどんなものがあるか分からない
・スポーツする場所がなくなった（一つにまとめられた）総合体育館
・大勢で来た時の飲食店が少ない
・一人暮らし、高齢者対策

B グループ

【あるべき姿】

心に残るふるさと、自慢できるまちしばた

【良いところ】

・桜並木
・暑さ寒さも少なく住みやすい
・自然が豊か
・穏やかな町で自然がありよい
・古墳が多い
・交通の手段が良い
・鉄道駅が３カ所
・仙台に近い、27 分で行ける、住環境が良い
・物が手配しやすい（食べ物含め）
・近くに量販店があり便利
・大きな中核病院がありよいです（2 市 7 町村）
・大学（仙台大学）がありスポーツ、福祉関係が学べる
・山崎パン工場がある
・スポーツ大学（仙台大学）がある
・福祉の町、介護ホームが多い
・地価が手頃（住宅価格）
・家賃が安い
・話すと意外と穏やか

【改善すべきところ】

・仙北と比べ仙南は個人を優先することが多い（協力性）
・若い人たちと年配の人たちとの交流
・古い習慣に囚われる世代が力を出している
・船岡には新しい図書館ができるが槻木分館も充実してほしい

・高齢施設があまりない
・車を運転できなくなったとき買い物や病院へ行く手段の確保
・運動施設がなくなった
・レストランが少ない、商業施設が少ない
・道の駅があってもよい（アクセスのよいところ）
・行政の申請等で船岡まで行くのが遠い、支所など
・特産が少ない、特徴がない
・特産が少ない
・農業活性化、特産物
・アグリ法人化→民営→働く場提供
・農業の６次化が遅れている
・花のまちを全町域へ
・桜の資源が生かされていない（商業化）
・自主財源を増やす、住民税、固定資産税
・町としてお金を貢いで補助金ばかりに頼らないよう
・財政規律が悪い 94.6%、自由裁量に使えない
・槻木と船岡の均衡ある政策、差がありすぎる
・郵便局の活用がない
・水道料が高い
・コンパクト化されていない（行政の組織）、行政区の自由性がない
・ダウンサイジング前提からの脱出
・口は出すが一歩踏み出す人が少ない
・産業の育成が弱い（製造業）
・教育、小中高の一貫化
・子どもの教育、ゴミ分別とか子どもから親へ
・町の歴史について子どもの頃から伝える仕組み
・住宅地不足
・防災、特に水害への不安を無くしてほしい
・度重なる災害（水）に対して弱い
・防災庁建屋がない、避難場所がない

C グループ

【あるべき姿】

豊かな自然の中で地域一丸となり にぎわいと教育を充実させる柴田

【良いところ】

・桜などの自然を使った観光設備の充実
・全国的に有名な桜まつりがある
・自然が多い
・花の町

・気候に恵まれている
・仙台圏に近い、通勤通学、買い物、文化活動に便利
・住みやすい
・子育てに力を入れている（こどもセンター）
・社協のきらら（子育て支援あり）
・しばたっこ（松田さんがご活躍している）
・子ども家庭課ができた
・こども食堂（社協）
・こども食堂、北船岡集会所、第3日曜日（みんなのテーブル）
・槻木地区は地区ごとのコミュニケーションがよく取れている
・子ども会が存続している（槻木地区）
・歴史的遺産が多い、摩崖仏とか
・お茶室がある（年2回春と秋）
・小中高大と学生の数が多い
・地元での進学がしやすい
・文教関係OK
・教育施設の充実
・鉄道や道路といったインフラ設備が充実
・総合体育館ができた
・新町長になり新たな風が吹いている

【改善すべきところ】
・観光資源があまり活かされていない
・観光がいまいち弱い
・水害が多い（地域の特性）
・若者が楽しめる娯楽施設が少ない
・中高生の居場所
・賑わいのあるイベントが少ない（槻木地区）
・駅前商店街が淋しい
・商店街が無くなっており淋しい
・子どもが少なくなってきている
・給食無償化
・児童生徒の学力が低い
・スポーツの成績、中学校の部活動が少ない
・世代間交流が希薄
・旧４号線の歩道が狭い
・公共施設、図書館、体育館など財政面を考えてほしい
・政策で具体的な求められている姿が見えてこない
・人口増、住家対策、空き家対策
・町おこしに本気で取り組んでいないのでは

・政策で優先順位を決めているか
・行政として農家の後継者問題はどうするのか、耕作放棄地
・返礼品が少ない